

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
6 教図	家庭 722	技術・家庭 家庭分野 代表著作者 汐見稔幸

編集の基本方針

中学生がこれからの生活の中で、自分を取りまく人やものごとに対して、状況を見ながらしなやかに対応できる能力（思考力・判断力・表現力・活用力）を育むことを目指して、以下の5点に配慮して編集しました。



①中学生の視点を大切に

- ・中学生が親しみを持って学習できるように、ともに学習を進めるふたごのキャラクター（ファミリンとライフン）を登場させました。キャラクターのつぶやきが、自分の生活を見つめ直すヒントや、学習の広がりへのきっかけとなることをねらいました。
- ・各章や節の導入では、**自立度チェック**や**クイズ**、中学生に馴染み深いアニメ作品などを取り上げ、中学生が興味を持って学習を始められるように工夫しました。⇒ p. 68, 148, 176, 242, 8, 46 など
- ・イラストや写真を多く使用し、ときには**ダイナミックな表現**を用いるなどして、中学生が楽しく学習できる工夫を盛り込みました。⇒ p. 69, 104-105, 190-191 など
- ・編集時に行った中学生アンケートをもとに、**中学生が知りたいこと**（根拠や理由、学習のヒント、知ると得をすることなど）をできるだけ多く示すようにしました。⇒ p. 76, 108, 167 ほか

②実感をともなう理解のために

- ・食品や子どもの手形などの**原寸大写真**を掲載したり、**料理の失敗例**を掲載するなど、基準になるものを示し、見て納得できるような工夫をしました。⇒ p. 30-31, 68-69, 149, 120, 127, 128 など
- ・身近な**年中行事**や**人生のお祝いごと**を一覧にしたり、**全都道府県の郷土料理**を掲載したり、**布を使った作品の工夫例**を多数掲載するなどして、自分の生活を見つめ直したり他と比較して考えたりしやすいように工夫しました。⇒ 口絵 3-7, p. 138, 180, 214, 217, 220, 221 など
- ・調理実習や布を使った製作実習以外にも、**実習を多く掲載**し、実際に手を動かしたり、考えたり、話し合ったりしながら、**実践的・体験的に**学習を進められるように配慮しました。

⇒ p. 6, 10, 26, 50, 52-57, 96, 104, 197, 257, 260, 264, 268 など

③しなやかな心と体を育むために

- ・自己実現にとどまらず、**グローバルな視点**で持続可能な社会を他者と協力しながら築くことができるように、**共生の視点**を盛り込みました。⇒ 口絵 1, p. 5, 24, 52, 64-65, 250-256 など
- ・**安全への配慮**は特に気をつけて、内容を充実させました。⇒ p. 109, 197, 112-113, 206, 209 など
- ・生徒同士がともに学び合い、**技術・技能とコミュニケーション能力**をともに高めていけるように、**グループやクラスで話し合ったり、考えたりできる実習やワーク**を多く掲載しました。

- ・ **伝統・文化**にかかわる記述を多く掲載しました。⇒口絵 3～7, p. 49, 142, 157, 178, 265 など
- ・ 多種多様な価値観を否定しないよう表現に配慮しました。また、中学生が将来にわたって家庭や地域社会で自立した生活を営む見通しを持てるよう、**空間軸と時間軸**を意識して編集しました。**キャリア教育**の視点から将来を見据えた選択や計画ができるよう配慮しました。

④小・中・高の学習のつながりを大切に

- ・ 冒頭の**ガイダンス**では、小学校での学習をふり返りながら、中学校 3 年間の学習の見通しを持たせ、さらに、今後につなげていくイメージを持ちやすいよう工夫しました。⇒ p. 4-5
- ・ **復習マーク**を示し、小学校のふり返りができるようにしました。⇒ p. 117, 170, 208 など
- ・ **技術分野と連携**して学習できる例を示しました。⇒ p. 146-147
- ・ **A, B, C, D**の 4 つの内容で構成し、学習指導要領との対応や小学校の学習とのつながりがわかりやすい構成としました。教える側にも、学ぶ側にも理解しやすいつくりとしました。

⑤自学・自習しやすい教科書に

- ・ 各節の冒頭で、**キーワードチェック**ができるようにしたり、**重要な語句を太字**で示すなどして、学習しやすい工夫を盛り込みました。⇒ p. 8, 10, 14 など
- ・ 本文や図、コラムなどでは、文章量を充実させ、**読んで理解を深める**ことができるように配慮し、さらに**言語活動の充実**にもつながるよう配慮しました。
- ・ **確認問題**を掲載し、学習のチェックができるようにしました。⇒ p. 60, 144, 222, 272
- ・ 授業で得た知識・技能を**生活の場面で活用**したくなるように、「おいしい調理実習」「つくりたくなる布作品」となるよう、教材の工夫をしました。実習題材は編集時にすべて試作をし、おいしさやつくりやすさを確かめたものを掲載しています。⇒ p. 116-135, 140, 210 など
- ・ 選択して学習する**生活の課題と実践**では、中学生がテーマを考えて実践しやすいように、身近な例をマンガ形式で示しました。⇒ p. 62-67, 146-147, 224-227
- ・ **発展的学習内容**を掲載し、興味に応じて学習できるようにしました。⇒ p. 28, 51, 58, 181, 187 ほか

各内容別のおもな特色

A 家族・家庭と子どもの成長

- ・ **ロールプレイング**や**グループ**での話し合い、地域の人へのインタビューなどの実習を多く盛り込みました。**コミュニケーション能力**を高めることや、**言語活動の充実**を目指しています。
- ・ 子どもとふれ合う機会の少ない中学生でも、**スムーズに幼児とふれ合える**ように、実際に幼児とふれ合っている中学生の写真やイラストを多く掲載しながら、事前準備学習がしっかり行えるページをつくりました。⇒ p. 52～57
- ・ 社会の一員として、家族や地域の子ども、高齢者に目を向けられるように、教科書全体で意識的に**家族や地域の人**を多く登場させています。⇒ p. 142, 146, 159, 186, 188, 189, 193, 226, 227, 255 ほか

B 食生活の自立

- ・ **食育**の充実を図るため、食の学習が系統的に学習できるよう配慮しました。⇒ p. 68-147
- ・ **調理実習**と、**栄養や献立の学習**とのつながりを大切にしました。⇒ p. 70-135

○調理実習題材は、実際に料理をつくる学習だけでなく、料理の写真や材料・分量を**栄養や献立の学習**で活用することができます。調理実習の題材を組み合わせたバランスの良い食事献立例を掲載しました。盛りつけや配膳にも配慮しました。⇒ p. 91, 92-95 など

○実習題材は**主食・主菜・副菜・汁物・間食**に分けて単品ごとに掲載しました。⇒ p. 117-133

○縦に流れるレイアウトを使用し、手順を写真で示すなど、調理しやすい工夫をしました。

- ・ほうちょうの扱い方では、切り方の解説とともに**切ったあとの食材の原寸写真**を掲載しました。調理実習で使う切り方が、このページで確認できるようになっています。⇒ p. 108-109
- ・6つの基礎食品群と各食品の**概量**をしっかりと理解することができるように、写真を多用した一覧表を掲載しました。また、**6つの食品群に色別のサイコロマーク**を設定し、食品成分表や調理実習の材料などにもマークを併記し、定着をねらいました。⇒ p. 92-95, 80-85, 116-135
- ・調理理論や**ポイント**を掲載し、**科学的な理解**を促す工夫をしました。また、**安全・安心**を重視しました。⇒ p. 106-111, 112-115, 116-135 など

C 衣生活・住生活と自立

- ・衣生活では、衣服計画を軸にして、着用・入手・手入れ・処分の内容を展開しました。**消費者としての視点、環境への配慮**といった視点も大切にしました。⇒ p. 150-151 など
- ・ゆかた、柔道着、はんでん、作務衣、はっぴなどの**身近な和服**を取り上げました。ゆかたについては、部分名称や着方、たたみ方なども示しました。⇒ p. 157-158, 173 など
- ・玉どめ、玉結び、ボタン付け、スナップ付けや**基礎縫いの方法**などは、イラストと写真を使い分けて、大きく分かりやすく表現しました。⇒ p. 170-171
- ・住生活では、同じ家の間取りをくり返し、教材として使用しました。家庭内事故の例や快適な住生活のための工夫では、**ダイナミックな表現**を用いました。⇒ p. 183, 190-191, 198-199
- ・発展学習では中学生のよく知っている**マンガやアニメの主人公**が住む家の間取りを取り上げました。想像力を働かせながら、楽しく学習できるよう工夫しました。⇒ p. 187
- ・人を取りまく身近な環境である「衣」と「住」は、学習しやすさを考慮し、章を分けて展開しました。布を用いた製作で、衣と住を融合させた題材を掲載しました。⇒ p. 148-227

D 身近な消費生活と環境

- ・自立した消費者となるように、「契約」「消費者の権利と責任」については特に力を入れ、イラストや文章を用いて丁寧に展開させました。⇒ p. 240-241, 252-255 など
- ・個人の満足を高めるだけでなく、国際社会や環境についても考えて行動できる、**消費者市民としての自立**を目指しました。「**自分の行動が社会を変える大きな力になる**」ことを実感してもらえるように、多くの紙面を割き、くり返し呼びかけました。⇒ p. 250-251, 256, 267 など
- ・生活と環境との関わりについての統計資料を多く掲載しました。社会の状況を**データから客観的に**に把握する力を育むことを目指しました。⇒ p. 262-263 など
- ・「がまんする」ではなく、「**楽しみながら**」環境に配慮した自分らしいライフスタイルが築けるように、さまざまな工夫例を盛り込みました。⇒ p. 264-271 など

・貯蓄や寄付など、これからの経済生活を考える**発展的学習**を掲載しました。→ p. 238-239

その他 カラーバリアフリーに配慮し、ユニバーサルデザインの教科書を目指しました。導入・図・本文などのレイアウトを固定化するなど、特別支援が必要な生徒が学習しやすいように配慮しました。

■教育基本法第2条との対応

	特に意を用いた点や特色	箇所
第1号	<ul style="list-style-type: none"> 口絵1～2で全体の学習内容の概要や進め方を示した。 栄養や健康にかかわる内容を扱う部分では、イラストや図を多用するなど、わかりやすい表現をこころがけた。など 	口絵1～2, p. 70～85, 194～199ほか教科書全体。
第2号	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた実習では、多くの作品例を写真で示し、生徒が個性に応じた工夫がしやすいよう配慮した。 口絵「人生のお祝い事」の中に入社式の写真を掲載したり、家族の生活を学習する部分で将来の自分が社会人として活躍する姿をイラストで掲載するなど、社会生活を意識させる工夫を各所で行った。など 	口絵1～2, p. 70～85, 194～199ほか教科書全体。
第3号	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現のために、育児・介護休業法について考えさせるコラムを掲載した。 フェアトレードという選択肢を取り上げ、世界的に豊かな社会の実現を考えさせるものとした。 地域の中で中学生にできる活動を自ら考えさせたり、具体的な例を写真入りで示すなどして、積極的に社会活動への参加を促した。など 	p. 8～29, 32～59, 230～257ほか教科書全体。
第4号	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と環境とのかかわりが具体的につかめるように、イラストや図など、豊富な資料を掲載した。など 	p. 258～271ほか教科書全体。
第5号	<ul style="list-style-type: none"> 伝統や文化を見つめる資料となるよう、口絵3～7では中学生の生活に身近な年中行事を取り上げた。 日本の郷土料理や和服、伝統的な住まいを取り上げるとともに、外国の料理や、衣服、住まいなどを写真で取り上げた。など 	口絵3～7, p. 138～143, 157～159, 118～181ほか教科書全体。

■学習指導要領との対照表

図書の構成・内容	ページ	学習指導要領の内容
わたしの成長と家庭分野の学習	4～5	A(1) ア
A 家族・家庭と子どもの成長		
第1章 家族と家庭生活	6～29	A(1) ア, A(2) ア, イ
第2章 幼児の生活と家族	30～59	A(3) ア, イ, ウ, D(1) ア, イ
選択 生活の課題と実践	62～67	A(3) エ
B 食生活と自立		
第1章 健康と食生活	68～85	B(1) ア, イ
第2章 献立作成と食品の選択	86～103	B(2) ア, イ, ウ, D(1) ア, イ, D(2) ア
第3章 日常食の調理と地域の食文化	104～143	B(3) ア, イ, D(1) ア, イ, D(2) ア
選択 生活の課題と実践	146～147	B(3) エ
C 衣生活・住生活と自立		
第1章 わたしたちの衣生活	148～175	C(1) ア, イ, ウ, D(1) ア, イ, D(2) ア
第2章 わたしたちの住生活	176～199	C(2) ア, イ, D(1) ア, イ, D(2) ア
第3章 生活を豊かにする工夫	200～221	C(3) ア, D(2) ア
選択 生活の課題と実践	224～227	C(3) ウ
D 身近な消費生活と環境		
第1章 わたしたちの消費生活	228～257	D(1) ア, イ
第2章 家庭生活と環境	258～271	D(2) ア